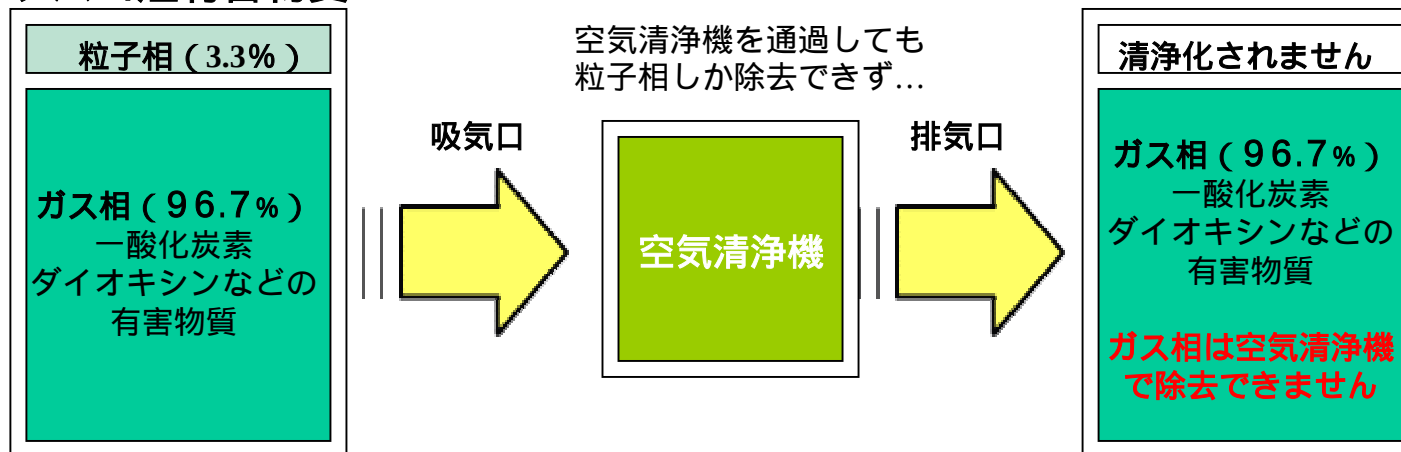


空気清浄機がタバコ煙に無効な理由

参考HP <http://nosmoke.hoops.ne.jp/>

一酸化炭素やニコチン、ダイオキシンなどタバコ煙の主要な有害物質のうち、97%が空気清浄機を素通りし、全く浄化されることなく排気口から周囲に撒き散らされています。このため空気清浄機は、タバコの害から100%非喫煙者を守らねばならない受動喫煙対策としては無効です。

タバコ煙有害物質



空気清浄機を素通りした有害物質は、排気口から周囲に撒き散らされ、周りの人にもタバコを吸う人自身にも危険です

「分煙のために広く使われている空気清浄機は煙の粒子はかなり除去できているが、一酸化炭素や発がん物質などガス状のものは取れていない」とされ、
「**空気清浄機は発がん性物質などの有毒ガスをかえって周囲にまき散らす**」と警告している。

厚生労働省の分煙効果判定基準策定検討会（座長＝内山巖雄・京都大学教授）の報告書より



カビ におわなくても脳にストレス アルファ波3割も減少

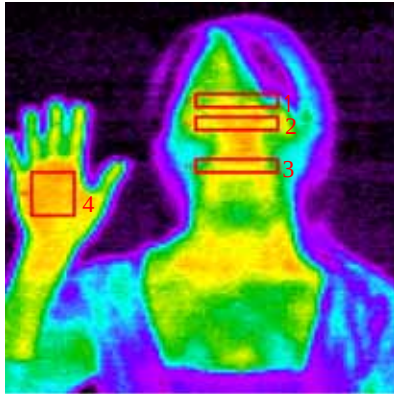
梅雨時に発生しやすいカビのにおいには、それに慣れてほとんど感じなくなっても脳にストレスを与えていることが、杏林大学医学部精神神経科の古賀良彦教授らの実験でわかった。高温多湿の時期には、カーテンやソファなど布につくカビからもにおいが出やすい。研究チームは「長時間過ごす居間などで、自覚はなくても、くつろいだ気分が妨げられている可能性がある」としている。

実験は、成人男女10人に、カビのにおいをつけた水と、無臭の蒸留水の入った試験管を、くつろいだ状態で30分間かいでもらい、脳波を記録した。人間は、同じにおいをかぎ続けると数分で慣れ、カビの場合でも、ほとんど自覚しなくなるとされる。しかし、実験の結果、カビ臭をかいた時は、脳のリラックス度を示すアルファ波の出る割合が、参加したほぼ全員で、約3分の2まで減った。蒸留水ではほとんど変化がなかった。

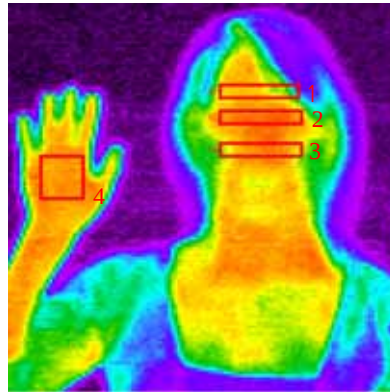
古賀教授は「自覚がなくても、脳はにおいに影響を受けていることが明らか。逆に良い香りなら、ほのかでも緊張をほぐすのに効果があるのではないか」と話している。

(2004年7月8日 読売新聞)

天然香料の持つ機能を解析し、表面体温を変化させる香料を開発しました。

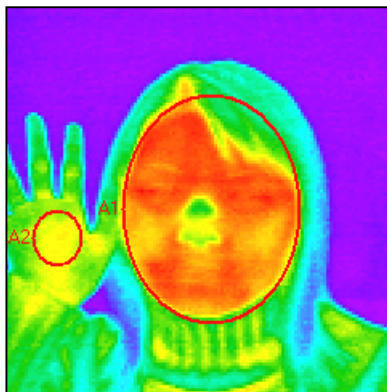


吸入前

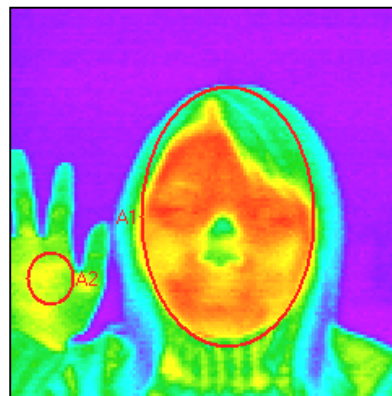


吸入後

	吸入前	15分経過	体温変化
1	30.93	31.85	0.92 ↑
2	32.29	33.97	1.68 ↑
3	31.48	33.07	1.59 ↑
4	32.95	33.59	0.64 ↑



吸入前

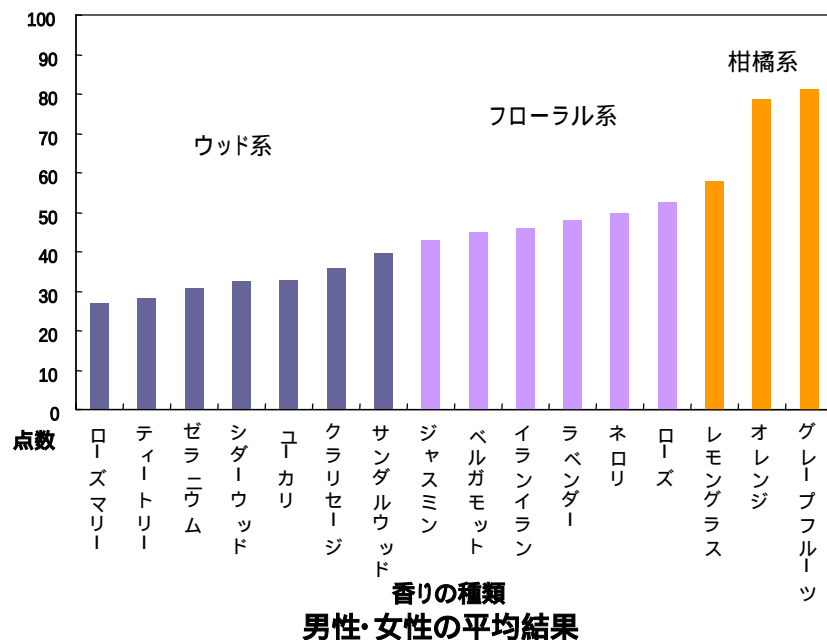


吸入後

	吸引前	吸引後三分経過	体温変化
A 1 (顔)	33.0	32.2	(0.8 ↓)
A 2 (掌)	31.1	30.4	(0.6 ↓)

モニターによるアロマの嗜好性 (大学生男性25名・女性25名)

AROMA RESERCH No.6(Vol.2/No.2 2001)



順位	香りの種類 (女性)	香りの種類 (男性)
1 位	グレープフルーツ	グレープフルーツ
2 位	オレンジ	オレンジ
3 位	ローズ	レモングラス
4 位	ネロリ	ラベンダー
5 位	レモングラス	ベルガモット
6 位	ラベンダー	ローズ
7 位	ジャスミン	イランイラン
8 位	イランイラン	ネロリ
9 位	ベルガモット	ジャスミン
10 位	サンダルウッド	サンダルウッド
11 位	クラリセージ	クラリセージ
12 位	シダーウッド	ユーカリ
13 位	ゼラニウム	シダーウッド
14 位	ユーカリ	ゼラニウム
15 位	ティートリー	ローズマリー
16 位	ローズマリー	ティートリー